大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）
（生命理工医療科学先端研究特論）（医歯理工学先端研究特論）

記

演題：顎変形症患者の顎口腔機能の特徴と口腔リハビリテーションの有用性

講師：鶴見大学歯学部歯科矯正学講座
友成　博　教授

日時：２０２６年１１月１３日（金）１７：００－１８：３０

場所：7 号館 2 階歯学科講義室 2

内容：
顎変形症患者では、顎顔面形態の異常により顔貌の審美的不調和や不正咬合に加え、咀嚼・発音・呼吸などの機能障害を伴うことが多い。外科的矯正治療は、形態と機能の改善を目的とするが、術後の新たな顎顔面形態への機能的順応には一定の期間を要する。そのため、術後の機能的リハビリテーションが重要となる。当科では、動的治療終了時からガム咀嚼訓練を導入し、咀嚼機能の早期回復を図っている。今回、その取り組みと臨床的効果について報告する。

連絡先：咬合機能矯正学分野　加藤千帆
内　線：4146
メールアドレス：katorts1@gmail.com